

2024 年 6 月 5 日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D インド中小型株ファンド」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D インド中小型株ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

| ファンド名           | 2024 年<br>6 月 4 日<br>基準価額(円) | 2024 年<br>6 月 5 日<br>基準価額(円) | 騰落幅<br>(円) | 騰落率<br>(%) |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|------------|------------|
| T&D インド中小型株ファンド | 17,279                       | 16,183                       | ▲1,096     | ▲6.34      |

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

|                  | 2024 年 6 月 3 日 | 2024 年 6 月 4 日 | 騰落率<br>(%) |
|------------------|----------------|----------------|------------|
| Nifty 中型株 100 指数 | 53,353.35      | 49,150.80      | ▲7.88      |

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、6 月 3 日と 6 月 4 日を比較しています。

|               | 2024 年 6 月 4 日 | 2024 年 6 月 5 日 | 騰落率<br>(%) |
|---------------|----------------|----------------|------------|
| インドルピー(対円レート) | 1.89           | 1.87           | ▲1.06      |

(小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは三菱 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)、単位は円です。

出所:ブルームバーグ

#### ◆足許の状況

インドの総選挙においてモディ首相率いる BJP(インド人民党)が議会で単独過半数を下回る見通しとなり、モディ首相の求心力低下への懸念が高まったことなどから、6月4日のインド株式市場は大幅に下落しました。事前の圧勝予想や6月1日時点の投票締め切り後に公表された出口調査から、BJPを軸とするNDA(国民民主同盟)が350議席以上を獲得するとともにBJPが単独過半数を獲得してNDAからの協力なしに単独で政権を維持するとの期待が高まっていただけに、開票開始後の報道で野党が予想以上に健闘したため与党が想定されていたほどの圧勝とはならない見込みと伝わったことが特にネガティブ視された形となりました。このような投資環境と市況に加えて、為替市場でインドルピー安円高が進行した影響により、6月5日の当ファンドの基準価額は前営業日比5%を超える下落となりました。

#### ◆今後の見通し

今回の選挙結果を受けて、インド株式市場は今後の政権運営に対する見方が定まるまでは、当面変動性の高い展開となる可能性があります。しかしながら、NDAが議席の過半数を獲得する見通しであり、BJPを中心とした政権運営の継続が見込まれ、インフラや製造業主導による経済成長促進への政府の取組み等も継続することが予想されます。インド経済は引き続き好調であり、企業収益も健全な成長を続けているというファンダメンタルに変化はないことや、中間所得層の台頭による消費の拡大、若年層の比率が高いという人口構造の優位性、設備投資の伸びなどのインド経済の構造的な成長力に加え、企業業績の伸びによる株価上昇が期待できることから、インド株式市場は底堅い展開をすると想定しています。

以上

\* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額の 0.90%または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年1.98%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。